第 54 回 埼 玉 県 学 校 事 務 研 究 大 会

大会テーマ「豊かな環境を確かな支援で　～学校事務の可能性は∞～」

― 組織運営 ―

埼事研は、第四次研究中期計画を策定し、子どもたちが豊かな学びの環境の下で過ごすための学校事務の可能性を追究しています。大会テーマ「豊かな環境を確かな支援で　～学校事務の可能性は∞～」は、第四次研究中期計画の研究テーマでもあります。社会や学校を取り巻く環境は急激に変化しており、未来は予測不能と言われています。そのようななか、学校事務の在り方についても時代に合わせて可能性を広げて考えることが、未来を担う子どもたちの学びの環境づくりにつながると考え、テーマを設定しました。

今年度の年次別研究課題は「組織運営」です。学校に求められることが多様化・複雑化しているなか、それらに対応するため、事務職員も総務・財務等に通じる専門性を生かして、より主体的・積極的に学校運営に参画していく必要があります。事務職員の学校運営への参画について「事務をつかさどる」という観点から探ります。

また、事務をつかさどり、学校教育を充実させるためには、事務職員の力量を高めるとともに、共同実施組織等を活用する必要があります。埼玉県内で共同実施が導入されてから約２０年が経過し、今年度、県内全市町村で共同実施の取組が始まりました。各市町村の実態に応じて共同実施組織等を活用し、事務職員が学校運営に参画する仕組みづくりを進める必要があると考えます。

本研究大会を通して、これからの学校事務の在り方について会員の皆様とともに考えたいと思います。

＊＊　研究発表　＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊

豊かな環境を確かな支援で～学校事務の可能性は∞～

―　組織運営　―

＊＊

本研究発表では、事務職員の組織運営へのかかわりの現状や、学校運営への参画が求められる背景を確認します。そして、事務職員はどのように学校運営に参画するか、事務をつかさどることや標準的職務内容を踏まえて提案します。また、学校運営に参画するために必要な力量の身に付け方や、共同実施組織等を活用した学校運営参画の仕組みづくりについて提案します。

「学校運営への参画」と聞くと難しく感じるかもしれませんが、事務職員が日常的に行っている業務はすべて学校運営に結び付いています。そこからさらに、学校運営へのかかわりを深め、広げる糸口を皆様と考えたいと思います。多くの方にご参加いただけると幸いです。

研究協議

柱１　学校運営へのかかわりを深め、広げるための第一歩

柱２　学校運営参画に向けた共同実施の活用